

第56回 城北五区親善柔道大会報告

少年の部 第1回戦 北区 対 荒川区

中盤まで北区がリードしていたが、副将戦で荒川区が勝利し4対4と追いつく、大将戦までもつれ込み北区の大将が勝ち、北区が5対4で辛勝する。

少年の部 準決勝戦 豊島区 対 練馬区

昨年度優勝区の豊島区が中盤までリードしていたが、7将・8将・副将と練馬区が勝利し、4対3で練馬区が辛勝する。

少年の部 準決勝戦 北区 対 板橋区

鈴木道場を中心とする選手構成で北区に失点を許さず、8対0で板橋区が勝利する。

少年の部 決勝戦 練馬区 対 板橋区

序盤は互いに善戦したが、中盤以降は板橋区が優位に立ち、6対1で板橋区が勝利する。1大会ぶりに優勝を収める。

青年の部 第1回戦 荒川区 対 練馬区

序盤に荒川区が3人勝利し優位に試合を進めるが、練馬区も意地をみせ2人が勝利するが、4対2で荒川区が勝利する。

青年の部 準決勝戦 豊島区 対 北区

北区が序盤に昨年度優勝区の豊島区を3点リードする。豊島区も中盤に2点を返したが、終盤攻めきれず、3対2で北区が勝利する。

青年の部 準決勝戦 荒川区 対 板橋区

序盤から互角の勝負となり8将戦を終わり2対2の内容も同じである。双方ポイントゲッターの副将戦となり板橋区が勝ち、3対2で板橋区が辛勝を収める。

青年の部 決勝戦 北区 対 板橋区

先鋒・次鋒と引き分けて、3将・4将と北区が勝利し北区が優位に立つ、5将・6将と板橋区が勝利し2対2に追いつく、7将戦で北区が不戦勝ちし再びリードする。後がなくなった板橋区は副将・大将と勝利し、4対3で逆転勝ちとなる。15大会ぶりに優勝を収める。

第20回 東京都城北五区柔道高段者大会 兼 段別大会報告

四段の部 8名、五段の部 12名、六段の部 6名、七段の部 4名、合計 30名と例年より少ない出場者であった。四段の部では素晴らしい得意技による一本勝ちが多く、五段以上では一進一退の気迫あふれる白熱した試合となった。



